

「国際マイクロ統計データベース」のさらなる拡充に向けて

情報・システム研究機構／統計数理研究所 岡本 基
 統計数理研究所 山下 智志

情報・システム研究機構は(公財)統計情報研究開発センターと連携協力協定を締結し、平成26年7月より共同で「国際マイクロ統計データベース」の試行提供を実施している。

平成25年1月、シンフォニカの伊藤彰彦理事長が日本側の代表者となり、アジア9ヶ国の統計局長と覚書を交わし、各国からの協力を受けて、この度の試行提供を実現した。

同データベースは、主に各国の家計調査のマイクロデータを匿名化し、「情報・システム研究機構 データサイエンス共同利用基盤施設 社会データ構造化センター 統計数理研究所・オンサイト解析室」において、オンサイト利用の形態で提供している。

現在、ラオスを除く8ヶ国10データを提供している。ラオスのデータについても提供準備を進めており、全提供国のデータが提供可能になるほか、すでに複数年度分のデータを利用可能な国もあり、時系列分析も可能になっている。

本報告では、「国際マイクロ統計データベース」の概要と整備の状況、今後の整備方針に加え、データベースの利用方法、年度末に開催する「国際マイクロデータワークショップ」、等について報告する。

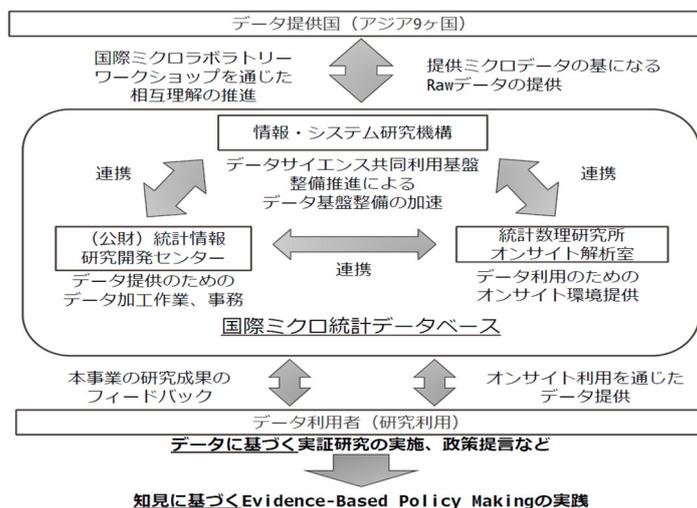


図1. 国際マイクロ統計データベースの提供体制

<参考 Web サイト>

- 「国際マイクロ統計データベースの利用」, http://www.sinfonica.or.jp/information/research/index_database.html
- 「公的統計のマイクロデータ利用」, http://ds.rois.ac.jp/center3_micro/asia.html